



コ・クリエーションスクール通信

共に創る わたしたちの学校

2026.08.20

No. 5

文責：校長

松島中学校 学校教育目標 「自分らしく あなたらしく 共に未来へ」～自律・尊重・共創～



2学期が始まりました。本校では、今年度の学校教育目標「自分らしく あなたらしく 共に未来へ」の実現に向け、引き続き「生徒が主役の学校づくり」を進めていきます。

2学期の大きなテーマは、「先生がつくる学校」から「自分たちでつくる学校」へです。学校には、授業や係活動、生徒会、行事など、決められたことややるべきことがたくさんあります。

しかし、ただ「言われたから」「決められているから」と取り組むのではなく、「もっとよくするには?」「自分たちだったらどうしたい?」

と考え、自分事として学校生活をつくってほしいと考えています。

そのために大切にするのが、「考える・対話する・挑戦する」という三つの姿勢です。一人ひとりが自分の考えや「やってみたい」をもち、仲間と対話する中で新しいアイデアを生み出し、実際の行動につなげていく。そして、うまくいかなかったときには、立ち止まって考え直し、また挑戦する。そうした経験を積み重ねることで、一人の「やってみたい」を、みんなの「やってみよう」へとつなげていきます。

もちろん、「生徒が主役」とは、何でも自由にすることではありません。安心して学校生活を送れることを土台とし、その中で「みんながよりよく、より幸せに過ごすためにはどうしたらよいか」を生徒と教職員と一緒に考えていくということです。

学校は、教職員だけでつくるものではありません。生徒、教職員、保護者、地域の皆様がそれぞれの立場から知恵や力を出し合い、共に学校をつくっていくことが大切だと考えています。

2学期も、生徒たちの「やってみたい」を大切にしながら、「考える・対話する・挑戦する」学校づくりを進めてまいります。保護者・地域の皆様にも、引き続き本校の取組へのご理解とご協力をお願いいたします。

【再掲】令和8年度 学校評価アンケート『前期』の実施へのご協力のお願い

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本校では、学校教育のさらなる充実を図るため、毎年度、保護者の皆様を対象に「学校評価アンケート」を実施しています。本年度は学校評価をより学校運営に活かしていきたいと考え、年に1回実施だったアンケートを前後期の2回実施し、年度途中でもよりよい教育活動のために見直し、検討、改善をしていきたいと考えています。学校評価は、学校の教育活動について保護者の皆様から率直なご意見やご評価をいただき、その声を今後の学校運営や教育活動の改善に生かしていくための大切な取組です。

昨年度は、保護者の皆様からの回答率が5割を下回る結果となりました。より多くの保護者の皆様の声を学校運営に反映させるため、今年度は回答率80%以上を目標として取り組みます。

特に今年度後半は、これまでの教育活動を振り返りながら、本校の教育目標の実現に向けて、さらに取組を充実させていく大切な時期となります。皆様からいただいたご意見は、今後の教育活動をよりよいものにしていくための貴重な資料として活用させていただきます。

お忙しいところ恐縮ですが、一人でも多くの保護者の皆様にご回答いただきますよう、ご協力をお願いいたします。皆様の率直なご意見をお待ちしております。

実施期間 8月28日(金)～ 9月6日(日)

回収方法 指定のURLへの入力による

令和8年度中体連夏季大会および

コンクール等の結果について



壮行会の演奏

職員応援メッセージ

*個人の結果については、県大会出場者のみ載せさせていただきました。

<u>男子バスケットボール部</u>		対 聖南中	●	41 - 45	中信大会惜敗
<u>女子バスケットボール部 (Nove)</u>		対 松本国際中	●	20 - 73	中信大会惜敗
<u>野球部 (WEST BBC)</u>		対 松本サザン	●	2 - 18	中信大会惜敗
<u>男子バレーボール部</u>	予選リーグ	対 山辺中	○	2 - 0	
		対 穂高東	○	2 - 0	決勝トーナメント進出
	決勝トーナメント	対 高瀬中	○	2 - 0	
		対 菅野中	●	0 - 2	中信大会ベスト8
<u>女子バレーボール部</u>	予選リーグ	対 白馬中	●	0 - 2	
		対 波田中	●	0 - 2	
		対 上松・大桑中	●	0 - 2	中信大会惜敗
<u>男子ソフトテニス部</u>	<団体戦>				
	予選リーグ	対 豊科北中	○	3 - 0	
		対 大町中	○	2 - 1	
		対 菅野中	○	2 - 1	決勝トーナメント進出
	決勝トーナメント	対 豊科南中	○	2 - 0	
		対 穂高東中	●	1 - 2	
		対 鉢盛クラブ	○	2 - 1	中信大会第3位県大会進出
	県大会	対 ながの北部 STC	●	1 - 2	県大会惜敗
	<個人戦>				
	阿部・高島ペア			中信大会ベスト16	
	高梨・唐木ペア			中信大会ベスト16	
	久保田・高橋ペア			中信大会ベスト8	県大会出場
	県大会				県大会惜敗

<u>女子ソフトテニス部</u>	<団体戦>			
	予選リーグ	対 梓川中	● 1 - 2	
		対 鎌田中	○ 2 - 1	
		対 菅野中	○ 3 - 0	決勝トーナメント進出
	決勝トーナメント	対 鉢森クラブ	● 0 - 3	中信大会惜敗
	<個人戦> 中信大会惜敗			

<u>陸上競技部</u>	女子200M	大塚葵 27.35 秒	中信大会	第1位
	女子砲丸投	宮下莉瑠 15.54m		第6位
		望月愛加 15.83m		第4位
	男子走幅跳	松本翔太 5.63m		第3位 県大会出場
	県大会			
	男子走幅跳	松本翔太 5.90m		第7位
	女子共通200M	大塚葵 27.63 秒		第7位
	女子共通円盤投	望月愛加 18.71m	第14位	
		宮下莉瑠 15.79m	第21位	県大会惜敗

<u>剣道部</u>	<団体戦>			
	男子予選リーグ	対 對山館	○ 5 - 0	
		対 塩尻中	○ 4 - 0	決勝リーグ進出
	決勝リーグ	対 広陵中	○ 4 - 0	
		対 山形剣ク	● 0 - 3	
		対 高綱剣友会	● 1 - 1	中信大会第4位 県大会出場
	女子予選リーグ	対 塩尻中	○ 2 - 2	
		対 広陵中	● 0 - 2	決勝リーグ進出
	決勝リーグ	対 梓川剣道	○ 3 - 1	
		対 大町中	● 1 - 2	
		対 広陵中	● 0 - 2	中信大会第4位 県大会出場
	県大会			
	男子予選リーグ	対 北星剣友会	● 1 - 4	
		対 浅間中	● 0 - 2	
		対 南箕輪中	● 1 - 2	県大会惜敗
	女子予選リーグ	対 夢想塾	● 0 - 4	
		対 東御東部中	● 1 - 2	
		対 南箕輪中	○ 3 - 2	県大会惜敗

<個人戦>
男子 瀧澤隆之助 第4位 県大会出場

県大会

男子 瀧澤隆之助 県大会惜敗

<u>水泳</u>	女子50M自由形	中田百香 (SAM 松本) 28.42 秒	第3位	北信越大会出場
			28.78 秒	北信越大会惜敗
		上條奈央 (ルネサンス松本) 33.87 秒		県大会惜敗
	女子100M自由形	中田百香 (SAM 松本) 62.84 秒	第4位	県大会惜敗

吹奏楽 (松島ウインドアンサンブル)

令和8年度長野県吹奏楽コンクール地区大会	金賞	県大会出場
令和8年度長野県吹奏楽コンクール県大会	銀賞	

合唱 (松島・清水・波田中)

第40回長野県学校合唱大会

兼 第93回NHK全国学校音楽コンクール長野県大会中信ブロック大会 銀賞

「財財(松本・東葉)サミット」で他校の生徒に奨励する
松葉中生徒会の復興たち＝7月14日 松本市

次期指導要領で重視 広がる県内小中学校

松本など
生徒会の課題共有するサミット

県内の小中学校で、教職と生徒が主体的にアイチを創り、習得定着することを目指す取り組みが広がっている。これはまず教職員の授業に内容に関与して指導を定めることが多かった。教職と生徒が全校イベントを企画したり、運動会や音楽会、遠征に参加したりする学校が増えている。2019年の年度からの実施に向けて、教職が中心で先生増進会を組織し、教職や生徒主体のルール作りなど事業を展開しており、こうした取り組みは今後さらに広がっていくと見られる。

「文化祭を、新しい取り組み方を考へていきますか」 松本市立瑞峰中学校の生徒から突然と質問が寄せられた。生徒たちは熱々の文芸大会の自由な取り組みが、文化祭に引き継がれることを期待している。

[illegible]

7月14日 松本市内を中心として、
学政町分校の生徒会役員及び入会
者有志で「夏風（在本・未志）サ
ミット」をサミットで開かれた。
今年の夏に続く「四日市開催」
生徒たちには文化祭の計画や夏風会
活動の様子、また卒業生が感じて
いる課題等について助言した。

児童福祉の
実行要綱
運動会企画

天保十三年

東京とカピタリ

五、

THE

児童や生徒が主役と

1990

8月10日（月） 信濃毎日新聞より

「子どもが主体」の学校を、これからも

本校では、学校行事や生徒会活動をはじめ、学校生活のさまざまな場面で「子どもたちを真ん中に」を大切にしています。今回の記事で紹介されているように、子どもたち自身が考え、対話し、仲間とともに学校をつくっていくことは、これからの学校にとって大切な学びの一つです。

二期も、「言われてやる」から「自分たちで考え、やってみる」へ。生徒のアイデアや挑戦を大切にしながら、子どもたちとともに、よりよい学校を創っていきます。

[illegible]

生は教育は學校を社會を卒業せしむための自給自給機關が、機關としての點をなせることに下すべし、活動の形態は、格を拘束したりしてゐるべきではない。

下伊那郡立青野の農林中では本年、學校を成功したものと評してゐる。